

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会科学Ⅰ(遠隔)		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
高卒程度公務員試験に対応した、「政治」「経済」「社会」や時事問題について学ぶ。 【実務経験】初級公務員試験対策指導26年				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員試験1次教養試験での合格 高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率				
回	テーマ	内容		
1	政治1 民主主義の基本原則と制度	民主政治の基本原則、民主政治の思想、主要国の政治制度		
2	経済1 市場経済	需要と供給、市場の形態(独占・寡占)、現代の企業		
3	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原則、人権各論		
4	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原則、人権各論		
5	経済2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
6	経済2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
7	政治3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
8	政治3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
9	経済3 日本経済の発展	戦後日本経済史、産業構造の変化		
10	政治4 政治の諸問題	政党と圧力団体、選挙制度、マスメディア他		
11	経済4 国際経済の動向と経済協力	貿易と国際収支、外国為替、戦後の国際経済体制、地域的統合、開発途上国問題		
12	政治5 国際政治	国際政治の基本、国際連合、地域紛争他		
13	社会1 労働・消費者問題、社会保障	労働関係の諸制度・諸法、労働事情、消費者問題、社会保障制度の歴史、日本の社会保障制度、最近の法制定・改正		
14	社会2 人口問題・地球環境問題	世界の人口、日本の人口、医療問題、地球環境問題、新たな取り組み、公害防止		
15	期末試験	期末試験(実戦問題、過去問演習)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミ①政治・経済・社会』		期末試験 出席・日常点	50% 50%	教科書を予習するとともに、教科書の練習問題を授業後行うこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会科学Ⅰ		公務員学科/1年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
高卒程度公務員試験に対応した、「政治」「経済」「社会」や時事問題について学ぶ。 【実務経験】初級公務員試験対策指導26年				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員試験1次教養試験での合格 高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率				
回	テーマ	内容		
1	政治1 民主主義の基本原則と制度	民主政治の基本原則、民主政治の思想、主要国の政治制度		
2	経済1 市場経済	需要と供給、市場の形態(独占・寡占)、現代の企業		
3	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原則、人権各論		
4	政治2 日本国憲法の原理と基本的人権	憲法の役割、新旧憲法の比較、基本原則、人権各論		
5	経済2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
6	経済2 国民経済の流れ	経済循環、国民所得、景気変動、金融の仕組み、財政の仕組み		
7	政治3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
8	政治3 日本国憲法の統治機構	三権分立、国会、内閣、裁判所、地方自治		
9	経済3 日本経済の発展	戦後日本経済史、産業構造の変化		
10	政治4 政治の諸問題	政党と圧力団体、選挙制度、マスメディア他		
11	経済4 国際経済の動向と経済協力	貿易と国際収支、外国為替、戦後の国際経済体制、地域的統合、開発途上国問題		
12	政治5 国際政治	国際政治の基本、国際連合、地域紛争他		
13	社会1 労働・消費者問題、社会保障	労働関係の諸制度・諸法、労働事情、消費者問題、社会保障制度の歴史、日本の社会保障制度、最近の法制定・改正		
14	社会2 人口問題・地球環境問題	世界の人口、日本の人口、医療問題、地球環境問題、新たな取り組み、公害防止		
15	期末試験	期末試験(実戦問題、過去問演習)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミ①政治・経済・社会』		期末試験 課題(指定の模試) 出席・日常点	50% 30% 20%	教科書を予習するとともに、教科書の練習問題を授業後行うこと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人文科学 I (地理系)		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	篠原 啓子
授業の概要				
以下の1、2を繰り返し行うことで、地理分野の頻出事項を確実に暗記し、公務員試験の得点源とすることが目的。				
1. 講義(科目担当作成分のプリントを使用)を受けた上で復習、暗記をし、知識のインプットを行う。				
2. 記述問題、5択問題の答練にあたり、知識のアウトプットを行う。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広く基礎を理解し、公務員試験合格を目指す</li> <li>・繰り返し問題にあたることで、一次試験合格のコツを身につける</li> <li>・多岐にわたる公務員試験の出題範囲に対応するため、計画的かつ効率的な学習を行う</li> </ul>				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	Lesson1:自然環境①	(1)大地形 ・安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯 (2)小地形 ・侵食平野(準平原、構造平野) ・堆積平野(沖積平野、洪積台地) ・海岸の地形(離水海岸、沈水海岸)		
2	Lesson1:自然環境②	(2)小地形 ・特殊な海岸地形 ・特殊な地形(カルスト地形、氷河地形、乾燥地形、火山地形) (3)大気・海流・水		
3	Lesson2:気候・土壌①	(1)気候要素 ・気温の較差、風 (2)ケッペンの気候区分 ・熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯		
4	Lesson2:気候・土壌②	(2)ケッペンの気候区分 ・雨温図、ハイサーグラフ (3)土壌 ・成帯土壌、間帯土壌		
5	Lesson3: 民族・人口・交通・地図	(1)地図 ・正積図法、正角図法、正方位図法 (2)人口 ・人口、人口動態、人口問題 (3)民族 ・主な人種問題、主な先住民族、各国の民族問題		
6	Lesson4:世界の農林水産業	(1)農牧業 ・自給的農業、商業的農業、企業的農業 ・主な農産物 (2)各国の農業 ・ヨーロッパ、中国、アメリカの農業の特徴について		

7	Lesson4 : 世界の農林水産業 Lesson5 : 世界の鉱工業	(3) 林業、水産業  (1) エネルギー資源 ・ 石炭、石油、天然ガス、電力 (2) 鉱産資源 ・ 鉄鉱石、非鉄金属		
8	Lesson6-1 : アジア地誌	(1) 中国 地勢、気候、農業、民族、鉱工業 (2) 東南アジア 地勢、気候、農業、ASEAN、各国の特徴、鉱工業		
9	Lesson6-1 : アジア地誌 Lesson6-2 : アフリカ地誌	(3) 南アジア、西・中央アジア 地勢、気候、農業、民族・宗教、鉱工業  ～アフリカ～ 地勢、気候、民族・内乱、農業、鉱工業		
10	Lesson8-1 : 南北アメリカ地誌	～アングロアメリカ、ラテンアメリカ～ ・ 地勢、気候、人種・民族、農業、鉱工業、各国の特徴		
11	Lesson8-2 : オセアニア地誌	～オーストラリア、ニュージーランド～ 地勢、気候、農業、鉱工業（産業）		
12	Lesson7-1 : ヨーロッパ地誌	～ヨーロッパ～ 地勢、気候、民族・宗教、農業、鉱工業、EU、各国の特徴		
13	Lesson7-2 : ロシア地誌	～ロシア～ 地勢、気候、農業、民族紛争、CIS、鉱工業		
14	Lesson9, 10 : 日本の自然・貿易、産業	(1) 日本の自然・貿易 ・ 日本の気候、人口、領土問題、主な河川・平野・盆地、貿易相手 (2) 日本の産業 ・ 農業、林業、水産業、鉱工業について		
15	確認テスト			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学テキスト」 実務教育出版 ・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学演習ブック」 実務教育出版 ・「公務員合格セミナー 初級本科 人文科学確認ワーク」 実務教育出版 ・「新詳地理資料COMPLETE」 帝国書院		出席率 確認テスト	50% 50%	【準備学習】 次回の授業内容を踏まえてテキストやプリントを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
人文科学 I		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	内海 恭

授業の概要

高卒程度公務員試験1次教養試験での合格をめざし、日本史・世界史・地理、また文化史と文学史を関連させて学習することによって学習効率と知識の定着率を高める。本試験での出題傾向を考慮し、各回以下の授業計画に加えて、確認テストを繰り返しおこない、直前期に復習講義を行う。

【実務経験】 盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率

回	テーマ	内容
1	日本史：古代1	縄文時代・弥生時代
2	日本史：古代2	奈良時代
3	日本史：古代3	平安時代
4	世界史：古代ヨーロッパ史1	ギリシア・ローマ1
5	世界史：古代ヨーロッパ史2	ギリシア・ローマ2
6	世界史：中世ヨーロッパ史1	ゲルマン人の大移動・フランク王国
7	世界史：中世ヨーロッパ史2	十字軍・中世イギリス史・中世フランス史
8	日本史：中世1	鎌倉時代1
9	日本史：中世2	鎌倉時代2
10	日本史：中世3	室町時代1
11	日本史：中世4	室町時代2
12	世界史：中国史1	殷～唐
13	世界史：中国史2	宋～明
14	世界史：中国史3	清～現代
15	日本史：織豊政権～江戸前期1	織豊政権
16	日本史：織豊政権～江戸前期2	江戸時代1
17	日本史：織豊政権～江戸前期3	江戸時代2
18	世界史：近代ヨーロッパ史1	ルネサンス・大航海時代
19	世界史：近代ヨーロッパ史2	市民革命
20	世界史：近代欧米史後半1	イギリス・フランス
21	世界史：近代欧米史後半2	ドイツ・イタリア・ロシア
22	日本史：江戸後期1	享保の改革・田沼政治

回	テーマ	内 容		
23	日本史：江戸後期2	寛政の改革・天保の改革		
24	日本史：江戸後期3	開国		
25	日本史：江戸後期4	討幕		
26	日本史：明治時代1	明治維新		
27	日本史：明治時代2	自由民権運動・憲法制定		
28	日本史：明治時代3	条約改正・日清戦争		
29	日本史：明治時代4	日露戦争・産業革命		
30	世界史：現代1	帝国主義・第一次世界大戦		
31	世界史：現代2	第一次世界大戦後		
32	世界史：現代3	世界恐慌・第二次世界大戦		
33	日本史：大正時代1	第一次世界大戦		
34	日本史：大正時代2	大正デモクラシー		
35	日本史：昭和～現代1	軍部の台頭		
36	日本史：昭和～現代2	第二次世界大戦		
37	世界史：現代4	冷戦		
38	世界史：現代5	現代		
39	日本史：昭和～現代3	戦後の民主化		
40	日本史：昭和～現代4	高度経済成長期		
41	日本史：昭和～現代5	現代		
42	問題演習	公務員試験対策		
43	問題演習	公務員試験対策		
44	問題演習	公務員試験対策		
45	期末試験	期末試験（問題演習から）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミシリーズ 日本史・世界史・地理』東京アカデミー編		期末試験 出席	80.0% 20.0%	授業態度により20点を限度に加点または減点することあり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
自然科学 I		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	佐々木 美保

授業の概要

高卒程度公務員試験1次教養試験に出題される理科(生物・化学・地学・物理)および数学の分野の講義を行う。本試験での出題傾向を考慮した確認テストを行い、理解の定着を図る。

授業終了時の到達目標

高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率をめざす。

回	テーマ	内容
1	地学①	地球の構造・火山
2	地学②	地震
3	地学③	地層・大気・海洋
4	地学④	気象・気圧・天気
5	地学⑤	宇宙・太陽系・恒星
6	地学⑥	太陽・星の日周運動・季節の星座
7	地学⑦	地学演習
8	生物①	細胞・エネルギーと代謝・光合成
9	生物②	呼吸・体内循環・体内環境の調整
10	生物③	神経とホルモンによる調整・免疫
11	生物④	感覚器官・脳のはたらき・DNAと細胞分裂
12	生物⑤	生殖・遺伝の法則
13	生物⑥	植物の反応と調整・生態系食物連鎖
14	生物⑦	生物演習
15	化学①	物質の構成・原子と分子・化学結合

16	化学②	原子量・分子量・化学反応式・物質の状態変化		
17	化学③	気体の性質・溶液の性質・酸と塩基・中和		
18	化学④	酸化と還元・イオン化傾向と電池		
19	化学⑤	電気分解・周期表・非金属元素・金属元素・有機化合物		
20	化学⑥	化学演習		
21	物理①	物体の運動・落下運動		
22	物理②	ばね・力のつり合い		
23	物理③	電流と磁界・力学的エネルギー		
24	物理④	波動・光他		
25	物理⑤	物理演習		
26	数学①	2次関数・2次方程式		
27	数学②	数列・微分法		
28	数学③	三角比・三角関数		
29	数学④	数学演習		
30	総合演習	総合演習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オープンセサミシリーズ 公務員（数学・理科） レジュメ配布		確認テスト・総合演習 出席率・授業態度	60% 40%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
判断推理 I (遠隔授業)		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	馬場 隆信

授業の概要

本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけられる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、課題解決手法の習得を通じて問題の本質を見極めることに関心が高まると同時に他領域への学習意欲が高められることをねらいとする。

授業終了時の到達目標

①出題文から課題を適切に読み取り、②解決手法を試行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的成果として判断推理分野の正答率6割以上を目標とする。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

演習用の問題集や模試問題などを用いた類題の演習

回	テーマ	内容
1	授業概要説明・論理	授業の進め方および・論理と集合の基礎
2	集合・人数	ベン図、キャロル図、線分図の3つの解法を習得する。
3	発言推理(うそつき)	発言内容に「うそ」が含まれる発言推理の問題において3つのパターンをマスターする。
4	対応関係	判断推理における主要分野である対応関係について、対応表の書き方をマスターする。
5	順序関係1	順位、体重、身長、年齢、時刻など順番に並べて考える問題について、数直線やブロック化技法にて解けるようになる。
6	順序関係2	順序が変動する問題や、大小関係がなく「差」が与えられたときの解法と時刻と時計のずれに関する問題の解法を理解する。
7	試合・勝敗	試合におけるリーグ戦とトーナメント戦における問題解法をマスターする。
8	位置・方位	マンションや駐車場、座席の位置関係に関する問題演習と東西南北に関する方位に関する解法をマスターする。
9	手順	天秤ばかりに関する問題、油分け算、ハノイの塔、定員ありの移動問題。
10	道順・位相	最短経路の道順解法や一筆書き問題に関する演習。
11	展開図	立体図形の展開図に関する問題、サイコロに関する問題。
12	軌跡	直線や円周上を図形が転がる際に特定の点が描く軌跡を求める。
13	空間図形の分割	少立方体を集めてできた立体に色を塗ったり、串刺ししたり、平面で切断した際の断面に関する問題演習。
14	多面体・切断・回転・空間図形の投影	正多面体における図形の特徴や図形の切断面・回転体
15	確認テスト	これまでの学習したテーマからの出題による確認テストの実施。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
①オリジナルプリント	出席率 確認テスト	50% 50%	授業において紹介する解法を確実に理解し、演習の時間に類題をしっかりと解いてマスターしてください。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
判断推理 I		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	佐々木 美保
授業の概要				
高卒程度公務員試験1次教養試験の出題傾向を考慮した、判断推理、数的推理の講義と演習を行う。				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率を目指す。				
回	テーマ	内容		
1	(判断) 命題	・論理と集合・対偶の求め方・三段論法の考え方・ドモルガンの法則		
2	(判断) 暗号	・暗号のタイプと問題例		
3	(判断) 試合の勝敗	・試合数の定則・トーナメント戦の解法・リーグ戦の解法		
4	(判断) 対応①	・対応表の書き方・要素が2項目ある場合の解き方		
5	(判断) 対応②	・対応表から場合分けする解法・対応表によらない解法・選択肢にあてはめる解法など		
6	(判断) うそつき	・グループ分けの方法・半分ウソ半分ホントの解法・犯人捜しの解法		
7	(判断) 順位(順序)	・条件から場合分けをする解法・折り返す問題・数直線や図による解法・他		
8	(判断) 順位(数値)	・樹形図による解法・時計のずれの問題・他		
9	(判断) 位置・方位	・テーブル(円卓・長方形)の座席問題・部屋(建物)等の位置関係のブロック化による解法・八方位の問題・他		
10	(判断) 集合	・ベン図の書き方・計算手法・数直線を用いる問題・キャロル図による解法		
11	(判断) 道順	・最短経路の解き方・一筆書き		
12	(判断) 手順	・天秤ばかりの解き方・渡河問題・ハノイの塔・計量カップの移し替え問題・他		
13	(判断) 曜日・規則性	・曜日の問題・数の数列の問題・マス目等の規則性の問題・他		
14	(判断) 魔方陣・その他問題	・奇数偶数魔方陣の解法・様々な魔方陣の解法・その他問題(家系図等)		
15	(判断) 平面図形	・折り紙問題・平面図形の構成等の問題など		
16	(判断) 軌跡	・軌跡問題の解法		

17	(判断) 多面体	・多面体の種類・展開図問題の解法・他		
18	(判断) 立体①	・立体を積み上げた問題・サイコロの問題・他		
19	(判断) 立体②	・立体の切断・投影図の問題・他		
20	(判断) 確認テスト	判断推理分野の確認テスト		
21	総合演習①	総合演習(過去問等)		
22	総合演習②	総合演習(過去問等)		
23	総合演習③	総合演習(過去問等)		
24	総合演習④	総合演習(過去問等)		
25	総合演習⑤	総合演習(過去問等)		
26	総合演習⑥	総合演習(過去問等)		
27	総合演習⑦	総合演習(過去問等)		
28	総合演習⑧	総合演習(過去問等)		
29	総合演習⑨	総合演習(過去問等)		
30	総合演習⑩	総合演習(過去問等)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オープンセサミ⑤一般知能 過去問演習プリント		確認テスト・総合演習 出席率・授業態度	60% 40%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
数的処理Ⅰ（遠隔授業）		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	馬場 隆信

授業の概要

本科目は、公務員試験の最重要科目のひとつに位置づけられる科目であり、公務員試験全体に共通する課題発見力、論理的思考力、課題解決力の本質を学ぶ科目である。また、数学的な要素が占める割合が高い分野であり、他の科目に求められている数学的な処理の土台を固めることもねらいとする。

授業終了時の到達目標

①出題文から条件を適切に読み取り、②適切な数式化を実行することで、③出題者が求める解決に辿りつくというプロセスを身につけることを目標とする。また、具体的成果として数的処理分野の正答率6割以上を目標とする。

実務経験有無	実務経験内容

時間外に必要な学修

演習用の問題集や模試問題などを用いた類題の演習

回	テーマ	内 容
1	速度問題の基本	①通過算②旅人算
2	速度問題の応用①	①仕事算②ニュートン算
3	速度問題の応用②	①時計算②流水算
4	割合①	①比②増減
5	割合②	①濃度②仕事算
6	場合の数と確率①	①場合の数②順列③組合せ
7	場合の数と確率②	①確率②期待値
8	整数①	①倍数と約数
9	整数②	①さまざまな整数問題
10	整数③	①数列・規則②魔方陣など
11	図形①	①角度②三角形
12	図形②	①図形の比と相似②円と扇形
13	図形③	①立体②展開図
14	資料解釈	①図表②グラフ
15	確認テスト	確認テスト

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
①オリジナルプリント	出席率 確認テスト	50% 50%	授業において紹介する解法を確実に理解し、演習の時間に類題をしっかりと解いてマスターしてください。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
数的推理 I		公務員学科/1年	2022/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	佐々木 美保
授業の概要				
高卒程度公務員試験1次教養試験の出題傾向を考慮した、判断推理、数的推理の講義と演習を行う。				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率を目指す。				
回	テーマ	内容		
1	(数的) 1次方程式 (数的) 2次方程式・不等式	・1次方程式を使う問題・数の計算の問題・料金・年齢に関する問題・不定方程式(文字の数より式の数が少ない場合)他 ・2次方程式を使う問題・不等式の問題		
2	(数的) 過不足・平均	・過不足の問題・平均の問題		
3	(数的) 速さと比	・速さの3式を使う解法・速さと比の関係		
4	(数的) 旅人算	・旅人算の解法・出会い算や追い越し算の問題		
5	(数的) 流水・通過算	・流水算、通過算の解法		
6	(数的) 比・割合①	・比や割合・増減の問題		
7	(数的) 比・割合②	・食塩水の濃度の問題		
8	(数的) 損益	・売買や利益・原価・定価の問題		
9	(数的) 仕事算	・仕事算の問題・ニュートン算の解法・ポンプ算の問題		
10	(数的) 覆面算・時計	・覆面算の問題・時計の長針短針の問題		
11	(数的) 数の性質・進法	・数の性質の問題(あまり・約数・倍数等)・N進法の問題		
12	(数的) 平面図形	・角度の問題・三角形や多角形の問題・図形の比や相似の問題 ・円とおうぎ形の問題・他		
13	(数的) 立体図形	・立体図形の体積の問題・他 ・立体図形の展開図に関する問題・他		
14	(数的) 場合の数	・数え上げ・順列の問題 ・組合せの問題		
15	(数的) 確率、資料解釈 確認テスト	・組合せと確率・余事象の確率の問題 ・様々なグラフの読み取り手法について・計算方法の学習 確認テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
オープンセサミ⑤一般知能 過去問演習プリント		確認テスト・総合演習 出席率・授業態度	60% 40%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公務員総合演習 I a		公務員学科/1年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
高校卒業程度、初級公務員試験を対象とした教養(基礎能力)試験対策。 模擬試験				
授業終了時の到達目標				
模擬試験での成果率=50%以上				
回	テーマ	内容		
1	模擬試験(1)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
2	模擬試験(2)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
3	模擬試験(3)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
4	模擬試験(4)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
5	模擬試験(5)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
6	模擬試験(6)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
7	模擬試験(7)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
8	模擬試験(8)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
9	模擬試験(9)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
10	模擬試験(10)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
11	模擬試験(11)	高卒程度公務員試験全国模擬試験		
12	模擬試験(12)	高卒程度公務員試験校内模擬試験		
13	模擬試験(13)	高卒程度公務員試験校内模擬試験		
14	模擬試験(14)	高卒程度公務員試験校内模擬試験		
15	模擬試験(15)	高卒程度公務員試験校内模擬試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
東京アカデミー模擬試験1~4、 TAC全国公開模擬試験1~4、 実務教育出版全国公開模擬試験(高卒・警察消 防)、 ウイネット公開1~3、 TAC校内模擬試験1~20		期末試験 課題 出席率	60% 20% 20%	提出物は期限を守 り、必ず提出する こと。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公務員総合演習 I b		公務員学科/1年	2022/前期	講義・問題演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	内海 恭
授業の概要				
高卒程度公務員試験1次教養試験での合格をめざして文章理解を学ぶ。各回とも以下の授業計画で問題演習を行う。 【実務経験】 盈進中高等学校で、社会科教師として、33年勤務した。				
授業終了時の到達目標				
高卒程度公務員模擬試験において60%以上の正解率。				
回	テーマ	内容		
1	問題演習1	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
2	問題演習2	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
3	問題演習3	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
4	問題演習4	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
5	問題演習5	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
6	問題演習6	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
7	問題演習7	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
8	問題演習8	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
9	問題演習9	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
10	問題演習10	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
11	問題演習11	長文問題・空欄補充・文章整序・漢字・ことわざなど		
12	問題演習12	公務員試験対策		
13	問題演習13	公務員試験対策		
14	問題演習14	公務員試験対策		
15	期末試験	期末試験(問題演習から)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
『オープンセサミシリーズ 文章理解・国語』東京アカデミー編		期末試験 出席	80% 20%	授業態度により20点を限度に加点または減点することあり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
公務員総合演習 I c		公務員学科/1年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	8単位(120時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
高卒程度公務員試験の教養(基礎能力)試験対策として、各科目の問題演習を行う。 各公務員の業務の内容について詳しく研究し、志望先を定めるとともに、面接試験対策を行う。				
授業終了時の到達目標				
公務員模擬試験、正解率=50% 自らが志望する公務員の職種について、志望動機と業務内容を話すことができる。				
回	テーマ	内容		
1~2	業務研究(1)	自衛隊の業務と試験について。		
3~4	業務研究(2)	国家公務員の業務と試験について。		
5~6	業務研究(3)	警察官の業務と試験について。		
7~8	業務研究(4)	市職員の業務と試験について。		
9~10	業務研究(5)	消防官の業務と試験について。		
11~18	面接準備	時事問題研究、受験手続について 志望動機、自己PRの作成、面接準備		
19~33	問題演習(1)	高卒程度公務員試験、教養(基礎能力)試験対策 国家公務員試験対策、東京消防試験対策を中心に。		
34~47	問題演習(2)	高卒程度公務員試験、教養(基礎能力)試験対策 地方公務員試験(市役所、警察官、消防官)を中心に		
48~60	問題演習(3)	高卒程度公務員試験、教養(基礎能力)試験対策 地方公務員試験(県・政令市職員、国家公安系職員)を中心に		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
各科目教科書、レジュメ、プリント。 TAC校内模擬試験。		科目評価 模擬試験 出席	60% 20% 20%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
プラスワン I		公務員学科/1年	2022/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	大賀崇宏 他
授業の概要				
公務員試験における「文系知識」「理系知識」「文系知能」「理系知能」「文章記述」の各分野においてプラス1点を目指してACTSで開発した動画教材を受講し、過去問などの演習で実践力を養成する。				
授業終了時の到達目標				
公務員試験の頻出分野における学生の苦手意識を払しょくし、模擬試験のボーダーラインを突破する。また、文章記述の演習を通じて、面接・作文に求められる他者への説明力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
事前課題の予習・事後課題の復習				
回	テーマ	内容		
1	文系知能攻略①	ACTS文系知能(文章読解系)①の受講+問題演習		
2	理系知識攻略①	ACTS理系知識(自然科学)①の受講+問題演習		
3	文系知識攻略①	ACTS文系知識(社会・人文科学)①の受講+課題演習		
4	理系知能攻略①	ACTS理系知能(数的・判断・資料)①の受講+課題演習		
5	文章記述攻略①	ACTS文章記述(作文系)①の受講+問題演習		
6	文系知能攻略②	ACTS文系知能(文章読解系)②の受講+問題演習		
7	理系知識攻略②	ACTS理系知識(自然科学)②の受講+問題演習		
8	文系知識攻略②	ACTS文系知識(社会・人文科学)②の受講+課題演習		
9	理系知能攻略②	ACTS理系知能(数的・判断・資料)②の受講+課題演習		
10	文章記述攻略②	ACTS文章記述(作文系)②の受講+問題演習		
11	文系知能攻略③	ACTS文系知能(文章読解系)③の受講+問題演習		
12	理系知識攻略③	ACTS理系知識(自然科学)③の受講+問題演習		
13	文系知識攻略③	ACTS文系知識(社会・人文科学)③の受講+課題演習		
14	理系知能攻略③	ACTS理系知能(数的・判断・資料)③の受講+課題演習		
15	文系知能攻略③	ACTS文章記述(作文系)③の受講+問題演習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ACTS開発教材		出席率	100%	【準備学習】事前課題が指示された分野は、事前に解いておく。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
漢字発展		公務員学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	3単位(48時間)	必須	内海 恭

授業の概要

漢字検定準2級を目標に、漢字能力、国語能力を高める。  
【実務経験】 盈進中高等学校で、社会科教員として、33年勤務した。

授業終了時の到達目標

漢字検定準2級合格

回	テーマ	内容
1	漢字テスト(1)	読み、同音・同訓異字(1)
2	漢字テスト(2)	熟語の構成、漢字の識別(1)
3	漢字テスト(3)	対義語・類義語(1)
4	漢字テスト(4)	対義語・類義語(2)
5	漢字テスト(5)	四字熟語、送り仮名(1)
6	漢字テスト(6)	書き取り、誤字訂正(1)
7	漢字テスト(7)	書き取り、誤字訂正(2)
8	漢字テスト(8)	読み、同音・同訓異字(2)
9	漢字テスト(9)	熟語の構成、漢字の識別(2)
10	漢字テスト(10)	対義語・類義語(3)
11	漢字テスト(11)	対義語・類義語(4)
12	漢字テスト(12)	四字熟語、送り仮名(2)
13	漢字テスト(13)	書き取り、誤字訂正(3)
14	漢字テスト(14)	書き取り、誤字訂正(4)
15	漢字テスト(15)	読み、同音・同訓異字(3)
16	漢字テスト(16)	読み、同音・同訓異字(4)
17	漢字テスト(17)	熟語の構成、漢字の識別(3)

回	テ ー マ	内 容		
18	漢字テスト（18）	対義語・類義語（5）		
19	漢字テスト（19）	対義語・類義語（6）		
20	漢字テスト（20）	四字熟語、送り仮名（3）		
21	漢字テスト（21）	四字熟語、送り仮名（4）		
22	漢字テスト（22）	書き取り、誤字訂正（5）		
23	総まとめテスト（1）	検定対策 過去問演習 総復習（1）		
24	期末試験	期末試験（問題演習から）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
旺文社『漢検でる順問題集準2級 3訂版』		期末試験 出席	80.0% 20.0%	授業態度により20 点を限度に加点ま たは減点すること あり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務教養演習a		公務員学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	3単位(48時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
卒業後に必要となるパソコン技能のうち、表集計・グラフ作成・関数の利用など初歩的なエクセル操作を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
表集計・グラフ作成・関数の利用など初歩的なエクセル操作ができるようになること。				
回	テーマ	内容		
<a href="#">1-2</a>	エクセル操作-1	ワークシートやブックの作成と管理		
<a href="#">3-4</a>	エクセル操作-2	セルやセル範囲のデータの管理-1		
<a href="#">5-6</a>	エクセル操作-3	セルやセル範囲のデータの管理-2		
<a href="#">7-8</a>	エクセル操作-4	ワークシートやブックのオプションと表示のカスタマイズ		
<a href="#">9-10</a>	エクセル操作-5	グラフやオブジェクトの作成-1		
<a href="#">11-12</a>	エクセル操作-6	グラフやオブジェクトの作成-2		
<a href="#">13-14</a>	エクセル操作-7	グラフやオブジェクトの作成-3		
<a href="#">15-16</a>	エクセル操作-8	数式や関数の利用-1		
<a href="#">17-18</a>	エクセル操作-9	数式や関数の利用-2		
<a href="#">19-20</a>	エクセル操作-10	数式や関数の利用-3		
<a href="#">21-22</a>	エクセル操作-11	演習問題-1		
<a href="#">23-24</a>	エクセル操作-12	演習問題-2		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
30時間でマスターExcel2019		期末試験 課題 日常点	70% 20% 10%	授業態度により20点を限度に加点または減点することあり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務教養演習 b		公務員学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	12回	1単位(24時間)	必須	大賀 崇宏
授業の概要				
<p>次年度の高卒程度公務員試験1次教養試験合格をめざし、政治・経済の解説演習、復習を行う。 面接試験対策の一環として、クラス活動を通して「人間力」向上、コミュニケーション力向上を図る。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>高卒程度公務員模擬試験において50%以上の正解率 クラス内での団結力を高め、発言力を強化する。</p>				
回	テーマ	内容		
<a href="#">1</a>	集団討議、面接試験対策(1)	公務員試験、面接試験対策。		
<a href="#">2</a>	集団討議、面接試験対策(2)	公務員試験、面接試験対策。		
<a href="#">3</a>	集団討議、面接試験対策(3)	公務員試験、面接試験対策。		
<a href="#">4</a>	集団討議、面接試験対策(4)	集団討議を通して、自分の意見を述べる実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。		
<a href="#">5</a>	集団討議、面接試験対策(5)	集団討議を通して、自分の意見を述べる実践。 時事問題のテーマに沿って問題を討議し、対応策について話し合う。		
<a href="#">6</a>	ビジネス文書(1)	ビジネス文書が果たす重要な役割。文書作成技能が求められている理由。ビジネス文書と現代の表記。		
<a href="#">7</a>	ビジネス文書(2)	社内文書と社外文書の違い。 レイアウトの理解。文書のフレーズを習得する。		
<a href="#">8</a>	ビジネス文書(3)	よじれない文書。 類義語。正しく使い分ける基本。		
<a href="#">9</a>	ビジネス文書(4)	社内文書の特徴。 簡単な社内文書(通知文)の作成。書式。		
<a href="#">10</a>	ビジネス文書(5)	社外文書の特徴。 簡単な業務用文書が、文例を見て書ける。書式。		
<a href="#">11</a>	期末試験、課題発表	期末試験、課題発表		
<a href="#">12</a>	特別講義	ビデオ教材を通して社会問題についての学習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント・レジュメ		期末試験 課題 日常点	70% 20% 10%	授業態度により20 点を限度に加点ま たは減点すること あり。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務数理演習 a		公務員学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	佐々木美保

#### 授業の概要

・ Microsoft Word2019についての基本から応用までの操作技術を学ぶ。

#### 授業終了時の到達目標

・ Microsoft Word2019の機能を習熟し、様々な文書がスムーズに効率よく作成できるようになることを目標とする。

・ 画像・テキストボックス・表の挿入、グラフの挿入、レイアウトの設定、フォントの設定、翻訳機能などを学習し、案内文書、はがき、レポート、チラシ、Webページ作成等について、Wordの機能を活用し効率よく作業できるように学習する。

回	テーマ	内容
<a href="#">1-2</a>	(PC) MS Wordの基本操作 (1)	MS Word2019の基本操作を学ぶ。文字入力、長文入力、フォルダ・USBメモリスティックへの保存を行う。
<a href="#">3-4</a>	(PC) MS Wordの基本操作 (2)	フォントの設定、ページ設定、余白設定、表の挿入、印刷等、基本の操作を練習する。
<a href="#">5-6</a>	(PC) MS Wordの基本操作 (3)	写真・オブジェクトの挿入、吹き出し、図形の挿入、翻訳などの機能を学習する。
<a href="#">7-8</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (1)	案内状、お知らせ文などビジネス文書を作成する。長い文章の打ち込みに慣れるようにする。
<a href="#">9-10</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (2)	段落の設定、見出し、ヘッダー、フッター、などの機能を使い文書を作成する。
<a href="#">11-12</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (3)	写真・オブジェクトの挿入、吹き出し、図形・テキストボックスの挿入などの機能を使って文書を作成する。
<a href="#">13-14</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (4)	ワードアートの挿入等で広告文面の作成他、色々な文書を便利な機能を利用して作成してみる。
<a href="#">15-16</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (5)	表紙の挿入、目次の作成、他の文書からの挿入などを学習する。
<a href="#">17-18</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (6)	段組み、グラフの挿入などを学習し、レポート形式の文書を作成する。
<a href="#">19-20</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (7)	Webページの作成、はがき、その他様々な形式の文書の作成をする。
<a href="#">21-22</a>	(PC) MS Wordで文書作成 (8)	これまで学習した機能を使って、課題に取り組み提出する。
<a href="#">23-24</a>	(PC) ライフプランニング作成	実務数理演習bで学習した、自分のライフプランについて、PCで作成する。
<a href="#">25</a>	期末試験	期末試験

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
「30時間でマスター Word2019」	期末課題	40%	
	出席	20%	
	提出物・授業態度	40%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務数理演習b		公務員学科/1年	2022/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	3単位(50時間)	必須	佐々木美保

### 授業の概要

- ・(数学) 数学3級～準2級程度の基本演習をする。
- ・(FP) パーソナルファイナンスの中でも主として、金利・為替、投資、企業会計、金銭トラブルの回避法、自己のライフプランについて学ぶ。

### 授業終了時の到達目標

- ・数検3級程度の問題を70%以上解けるよう基本演習する。準2級程度は50%以上解けるよう演習する。
- ・利息や為替の計算方法を理解する。株式投資による収益の計算方法を模擬体験する。財務諸表(貸借対照表、損益計算書)について学ぶ。個人のライフイベントを計画し、ライフプランを立てる。

回	テーマ	内容
<a href="#">1</a>	(数学) 式の計算・1次方程式	文字を含まない四則計算、文字を含んだ四則計算を確実に解けるようにする。1次方程式の文章題に取り組む。
<a href="#">2</a>	(数学) 連立方程式	加減法、代入法をマスターする。連立方程式の文章題に取り組む。
<a href="#">3</a>	(数学) 2次方程式	2次方程式は乗法公式による式の展開、因数分解の公式を覚える。2次方程式の文章題に取り組む。
<a href="#">4</a>	(数学) 1次関数	1次関数、比例・反比例の式とグラフを学習する。変化の割合、座標などを求める問題、応用問題に取り組む。
<a href="#">5</a>	(数学) 2次関数	2次関数の式の形、平方完成の仕方を学習する。グラフの形、最小値・最大値の求め方を学習する。
<a href="#">6</a>	(数学) 数列	等差数列、等比数列の公式を覚える。等差数列の和、等比数列の和の公式を利用した問題に取り組む。
<a href="#">7</a>	(数学) 三角比	サイン、コサイン、タンジェントについて。三角比の相互関係の公式を理解する。基本問題に取り組む。
<a href="#">8</a>	(数学) 平面図形(1)	角度・線分の問題、三角形・四角形・多角形の角度や面積の問題に取り組む。円・扇形の面積等の問題に取り組む。
<a href="#">9</a>	(数学) 平面図形(2)	三平方の定理、相似の問題、中点連結定理を使った問題等、応用問題に取り組む。
<a href="#">10</a>	(数学) 空間図形(1)	直方体、円錐、三角錐、球体などの体積、表面積を求める問題に取り組む。
<a href="#">11</a>	(数学) 空間図形(2)	立体図形の応用問題に取り組む。展開図、投影図などの問題に取り組む。
<a href="#">12</a>	(数学) 組合せ・場合の数	場合の数、組み合わせの問題に取り組む。
<a href="#">13</a>	(数学) 確率統計	確率の問題に取り組む。度数分布表、グラフの問題に取り組む。
<a href="#">14</a>	(数学) 期末テスト	数学の期末試験を実施する。
<a href="#">15-16</a>	(FP) お金の循環・為替・金利	基本的な社会のお金の流れ、為替、金利、利息の計算方法について学習する。
<a href="#">17</a>	(FP) 貯蓄の種類・投資(1)	貯蓄の種類、株、債券について学習する。株式投資の模擬体験に向けて、売買金額の計算方法を学習する。

回	テ ー マ	内 容		
<a href="#">18</a>	(FP) 貯蓄の種類・投資(2)	株式投資の模擬体験を行い、損益の計算方法、投資利回りやリスク分散等の学習をする。		
<a href="#">19</a>	(FP) お金の借入・トラブル	借入金利の計算方法、多重債務の危険、消費者トラブルについて注意点や解決方法などを学習する。		
<a href="#">20-21</a>	(FP) 会社の会計について	株式会社の会計、損益計算の方法(損益計算書)、資産と負債(バランスシート)について学習する。		
<a href="#">22</a>	(FP) 社会保険について	給与明細から引かれる項目、所得税、健康保険・厚生年金といった社会保険の仕組みについて学習する。		
<a href="#">23-24</a>	(FP) ライフプランニング	個人のライフプランニングの立て方を学習する。自分のライフイベントを想定して生涯の収入と支出を描いてみる。		
<a href="#">25</a>	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
受かる! 数学検定(3級、準2級) 「10代から学ぶパーソナルファイナンス」		期末テスト	40%	
		出席	20%	
		提出物・授業態度	40%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務研修		公務員学科/1年	2022/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	110回	14単位(220時間)	必須	広島県警察学校
授業の概要				
広島県警察学校10月採用者を対象に、広島県警察学校における初任科教育・訓練を行う。				
授業終了時の到達目標				
県民から信頼される警察官として、職務が遂行できる能力を身につけ実践できる。				
回	テーマ	内容		
<a href="#">1</a>	職務倫理(1)	訓育・警察官に求められる基本的心構え等		
<a href="#">2</a>	職務倫理(2)	訓育・警察官に求められる基本的心構え等		
<a href="#">3</a>	職務倫理(3)	訓育・警察官に求められる基本的心構え等		
<a href="#">4</a>	法学(1)	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法		
<a href="#">5</a>	法学(2)	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法		
<a href="#">6</a>	法学(3)	憲法, 警察行政法, 刑法, 刑事訴訟法, 民法		
<a href="#">7</a>	基本実務(1)	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等		
<a href="#">8</a>	基本実務(2)	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等		
<a href="#">9</a>	基本実務(3)	社会, 警務, 生活安全, 地域, 捜査, 鑑識, 交通, 警備等		
<a href="#">10</a>	術科(1)	点検・礼式・教錬, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等		
<a href="#">11</a>	術科(2)	点検・礼式・教錬, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等		
<a href="#">12</a>	術科(3)	点検・礼式・教錬, 柔道, 剣道, 逮捕術, けん銃等		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
広島県警察学校による		出席(在籍) 課題	50% 50%	